

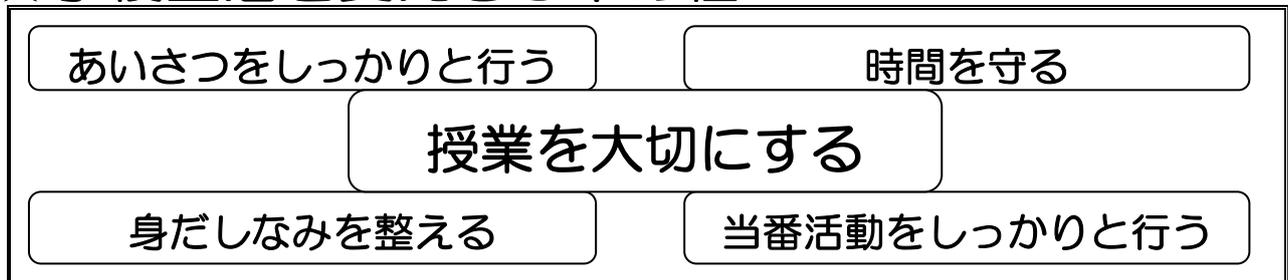
二中の生活で大切にしたいこと

「中学校での生活が楽しい」と感じられることは、とても素晴らしいことです。しかし、楽しければいいというものではなく、人間的に成長することや充実した学校生活を作るためには、楽しくなくてもやらなければならないこともあります。みんなには楽をして簡単に味わえる楽しさだけではなく、努力や苦勞をしたことで得られる楽しさや喜びを感じて欲しいと思っています。学校生活だからこそ経験できる楽しさや喜びとは「みんなと協力をして物事に取り組む」ということです。

中学校という集団生活の場には”きまり”や”マナー”があります。きまりを守って生活することで、生徒一人ひとりが自分の良さを発揮できる学校生活を送ることができ、楽しさや成就感を味わうことができるのです。人は人の中で育ちます。一人ひとりのちょっとした努力や心配りで、「個人的に楽しいだけの学校」ではなく、『みんなにとって楽しい学校』になっていくのだと思います。

中学生として、子供から大人へと成長するために、この二中で多くのことを”学び”、自分で考え、判断し、行動できる力を身につけてください。そして、人の気持ちを考え、お互いを認め、支え合う”思いやり”の心を育てていきましょう。

☆学校生活を支える5本の柱



1 礼儀…「あいさつ・返事・言葉を大切にしよう」

(1) 礼儀・感謝の気持ち

* 元気よくあいさつ、返事をする。

・ 「はい」「おはようございます」「ありがとうございます」「失礼します」「すみません」

* 朝会及び集会等での礼について

・ 「礼」の号令がなく、前に立っている人が礼をしたら礼を返す。

(2) 職員室でのマナー

* 職員室に入ったところで用件を話す。

「失礼します。〇年◇組の□□です。△△先生お願いします。」

「☆☆部〇年◇組の□□です。外倉庫の鍵を取りに来ました」

* カバンは廊下に整頓しておく。コート類は脱ぐ。手袋、マフラー等もとる。

* 用事が済んだら速やかに退室する。

(3) 言葉遣い

* 正しい言葉遣いをする。先生や保護者に対しては丁寧な言葉を使って話す。

* 友達に対しても、相手を傷つけるような乱暴な言葉は避ける。

2 生活時間…「時間を守ろう」

(1) 登校（徒歩で登校すること）

* 8：25（予鈴）には自分の席に着席できるように登校する。 8：30（本鈴）に着席していなければ遅刻となる。

* 朝会時（月曜日）も8：25までにアリーナで着席完了できるように登校する。

各学年のD組が中心となり自主的に整列する。移動中は列を崩さず、私語をしない。

* 8：15～8：25は先生方の打ち合わせがあるので、緊急の場合を除いては職員室へは入れない。日直・自治委員の朝の活動（ホワイトボードの連絡事項の記入や担任の先生との連絡など）及び、1校時の教科連絡などは8：10までに済ませること。8：10以降に職員室に来たり、職員室前にいたりすることのないよう注意する。

- (2) **欠席の連絡**
 *保護者が**8:10までに**スマート連絡帳を利用して連絡を行う。また、生徒手帳に保護者が押印・記入して担任の先生に届ける。近所の友達などに届けてもらってもよい。
- (3) **遅刻**
 *遅刻の場合も、欠席と同様にスマート連絡帳や電話などで確実に学校に連絡をする。
 *遅刻して登校した場合は、2階職員玄関から校舎へ入る。必ず職員室へ行き、学年の先生（いない場合は他学年の先生または副校長先生）に登校したことを伝えてから教室に行く。
 ※防犯のため、生徒登校後は1階昇降口の扉は内鍵がしてある。
 *朝会では、8:30までにアリーナフロアに入っていない者、教室にカバンを置いていない者は遅刻となる。遅刻者は各学年の列の横に整列し、朝会后、学年の先生の指導を受けてから教室に戻る。
- (4) **1校時まで**
 ・8:25 予鈴着席。学習マラソン等を記入し、朝学習（朝読書）の準備。
 ・8:30～8:40 出席確認、朝読書または朝学習
 ・8:40～8:45 朝学活
 ・8:45～8:50 1校時の準備 教室移動とトイレ以外は廊下に出ない
 ・8:50～ 1校時
- (5) **チャイム前着席（学校生活の基本は授業です）**
 *休み時間は、次の授業の準備（授業準備）をしてからトイレ等に行く。
 *一人ひとりが自覚を持って行動するとともに、自治委員や校紀委員、班長、教科係が中心となってみんなで呼びかける。
 *授業が早く終わってもチャイムが鳴るまでは廊下に出ない。先生の指示により**授業中に教室を移動したり、廊下を歩く場合は私語をしない。**
- (6) **給食 12:40～13:10（12:50には「いただきます」ができるように準備をする）**
 *4校時が終了したら手を洗い、教室に戻って速やかに配膳をする。給食当番は必ずエプロンと三角巾を着ける。（必要に応じてマスクも）
 *早く給食を食べ終わっても13:10のチャイムまでは教室から出ない。
 ※各部の部長は活動時間や内容などを顧問の先生に確認し、3校時後の休み時間終了までにホワイトボードに記入をすること。
- (7) **昼休み 13:10～13:25**
 *教室・廊下または校庭で安全に過ごす。クラスボール（2個）がある。
 *予鈴（13:25）がなったら、速やかに教室に戻り、5校時の授業に遅れないようにする。
 *翌日の授業の教科担当の先生との連絡は、昼休みまでに済ませる。
 *雨天等で校庭の状態が悪い場合は、生徒指導主任と体育科で判断し、給食中に連絡する。
- (8) **下校**
 *一般下校 15:50（6校時） 14:50（5校時）
 ・清掃や用事がない生徒は速やかに下校する。一般下校15分後には1階昇降口を施錠する。
 *最終下校（部活がある場合） ※最終下校15分前にチャイムが鳴る。
 ・3月～10月 18:30（18:30までに正門を出る）
 ・11月～2月 18:00（18:00までに正門を出る）
 ※部活動・生徒会活動以外（担当の先生の指示等）の活動は17:00までとする。
 *帰宅後は私服に着替えて行動する。標準服のままで遊んだり、買い物に出かけたりしない。

3 服装・頭髪…「身だしなみを整えよう」

(1) 標準服

【標準時】

- *ブレザー、ズボン、スカート
- *白いワイシャツ、金具止め式のネクタイ・リボンを着用する。

【夏服時】

- *ポロシャツ着用可であるが、学校指定のものに限る。
- *学校指定のベスト〔令和元年度より、紺色と白色を販売している〕を着用してもよい。

- *年間を通して、冬服・夏服の期間を指定しない。天候・気温に応じて、冬服・夏服を各自が考えながら正しい服装で生活する。
- *ベルトは黒とし、柄のないもの、穴やバックルに装飾のないものを着用する。
- *スカート丈は、膝がかくれる長さとする。
- *第1ボタンをしめ、ネクタイ・リボンをきちんと付ける。
- *靴下の色は白・黒・紺・グレー。ワンポイント程度は認める。

- *肌着は外に透けない色のものを着用する。ワンポイントは可であるが、大きな文字等の入ったものは着用しない。
- *セーター・カーディガンは、色は白・黒・紺・茶系・グレーで無地のものを着用する。
(セーター・カーディガンのみでの活動はしない)
- *防寒具(手袋・マフラー・コートなど)は、通学にふさわしいもので、派手なものは着用しない。また、登下校時以外には着用しない。
- *スカートの下に着用するタイツについては、色は黒とし、無地で肌が透けないものとする。また、タイツはつま先まで覆われたタイプとする。なお、体育の授業や運動部活動時には着用しない。
- ※再登校や忘れ物をして学校に来る場合も私服では校内に入れない。

(2) 靴

- *下履き…運動靴とする。(体育の授業ができるもの)
- *上履き…学校指定の学年別に色分けされたもの(かかとに記名をする)
 - ※ネクタイ、リボン、上履きを忘れた場合…貸し出し用のものを借りる。
 - 職員室のうしろにある、所定の用紙に学年、クラス、氏名等を記入し、生徒手帳を学年の先生に渡して借りる。下校前に必ず返却する。

(3) 頭髪など

- *学校生活にふさわしい髪型にするよう心がけ、前髪が目にかからないようにする。脱色や染色、剃りこみなどの加工した髪型で登校した場合は、直してから登校することになる。
- *髪に装飾品をつけない。ただし、学校生活に必要な場合、ヘアピン・カラーゴムについては「黒・紺・茶」色のみ使用を認める。
- *髪が肩や背中にかかる場合は、学校生活に支障のないようにゴムで結ぶ。
- *整髪料(ワックスなど)、香水、マニキュア、色つきリップなど化粧品類は使用しない。

(4) カバン

- *色や形の指定は特にないが、開口部がチャックでしっかり閉まるものとする。ディバッグ(リュックサック)等、両肩に背負えるタイプが望ましい。
- *体育着や水着などはビニール製の袋に入れて持ってきてもよい。

(5) 体育着

- *二中指定のジャージ、シャツ、ハーフパンツを使用する。
(ネームが入っていないハーフパンツなどは内側のタグなどに必ず記名する)
- ※体育着のシャツは、ハーフパンツまたはジャージ(下)にしまう。

(6) その他

- *リップクリームは、色つきではなく無香料のものは持ってきてもよい。
- *汗拭きペーパー等は持ってきてもよいが、無香料のものとし、使用する場所は更衣室のみとする。その他の場所では使用しない。使用したものは必ず各自で持ち帰る。

4 環境の整備・美化…「整理整頓、掃除をしっかりと行おう」 ”心の美化”と”心の成長”

(1) 当番清掃

- *班員みんながそろって始めて、協力して取り組み、そろって終わる。終わったら必ず担当の先生に報告し、チェックを受けて終了となる。

(2) 教室・廊下の整備

- *机、イスの整頓、机の中・ロッカー・棚の整頓をし、大切に使う。掲示物も大切に作る。
- ※机の天板については、故意に傷つけた場合は実費負担となる場合もある。

(3) トイレ・更衣室

- *誰もが気持ちよく利用できるように、きれいに使う。
- *トイレや教室は更衣のために使用しない。

(4) 落とし物

- *2階被服室前の棚に入れてある。心当たりのある生徒は申し出る。

(5) 傘の管理

- *傘には必ず記名する。学校には置いていかずに必ず家に持ち帰る。
- *雨でぬれた傘は、昇降口にあるクラスの傘立てに入れる。
ぬれていない傘は、昇降口の傘立てには入れず、自分で教室に持ち上がって教室後方の棚に入れる。
- *突然の雨の場合は傘を貸し出すので先生に申し出る。

(6) 公共物(ガラスなど)を破損してしまったとき

- *速やかに事実を先生に報告する。その後、片付けなどの指示を聞き、きちんと処理する。
- ※故意に破損させた場合は弁償になることもある。
- *自分でなくても、破損や落書きなどを発見したときは必ず先生に連絡する。

5 その他

(1) 持ち物

* 持ち物には必ず記名する。(ネクタイ、リボン、教科書、上履き、傘など)

☆ネクタイ・リボン	→ 裏にマジック等で記名する。
☆ブレザー・ズボン・スカート等	→ タグ等に記名する。
☆上履き	→ かかとに記名する。

* 学校生活に必要なもの(菓子類・アクセサリ類・時計・携帯電話・金銭・刃物類・遊び道具など)は持参しない。

※持ってきた場合は預かり、保護者を通して返却する。

* 学校で集める以外のお金や貴重品は持ってこない。お金を持って登校した場合は必ず朝のうちに先生に預ける。

* テレホンカードは持ってきてもよい(自己管理)。先生に申し出てカードを借りることもできる。その場合は通話した分のお金を後日担当の先生に渡す。

(2) 他学年・他クラス

* 特別な用事(委員会活動など)がない限り、他学年のフロアへは行かない。

* 特別教室への移動は、他学年のフロアを通らないように東または西階段を利用する。

* 他クラスや関係のない施設・教室には入らない。

(3) 安全管理

* 防犯のため、1階昇降口は生徒登校後(8:30)内鍵がしてある。体育の授業や昼休みに扉を開けたときは、出た後(入った後)に必ず扉を閉める。

* 遅刻や早退の場合は、2階職員玄関から出入りをする。

(4) 弁当が必要なとき

* 給食がない日の行事や部活動などで昼食が必要な場合は、家で弁当を準備するか、登校前に購入しておく。登校途中で店に入って購入することはしない。登校後、校外に出て購入することは許可しない。弁当のゴミは必ず家に持ち帰る。

(5) 水筒(通年持参可)

* 水筒には必ず記名する。

* 中身は水またはお茶・スポーツドリンク及び氷に限る。ビン・カン・ペットボトル・紙パック等は不可。

* 他人の水筒には触れない。(勝手に中身を飲んだり、水筒へのいたずらなどは絶対にしない。)

(6) 自転車通学

* 自転車での通学は原則禁止。

(7) 保健室の利用

* 具合が悪い場合は、担任または次の授業の教科担任に申し出て保健室に行く。(原則、保健給食委員が付き添い、保健室連絡カードを持っていく)

* 保健室では、必ず養護の先生の指示に従う。

* 保健室での休養は原則30分、長くても50分以内とする。それでも回復しない場合は原則として早退となる。その場合、保護者へ連絡後帰宅する。また、**休養をとった場合はその日の部活動には参加せずに下校し体調を整える。**

(8) 届出

* 遅刻・早退・欠席・(体育授業等の)見学などは生徒手帳に記載して必ず届け出る。

(9) 再登校

* 標準服または学校指定のジャージ、部活動指定の練習着等で再登校する。

* 指定されている時間よりも早く来すぎることをしないようにする。

(10) 部活・生徒会活動以外での他校への訪問は禁止

* 市内・市外ともに、他校へは部活動や生徒会活動など公的な目的以外では訪問しない。部活動の応援は必ず顧問の先生の許可を得る。他校の行事へは絶対に行かない。

* 自分が卒業した小学校であっても勝手に校庭で遊ぶようなことはしない。用事がある場合も事前に連絡をして許可を得る。行った際には必ず受付または職員室にあいさつをし、先生の指示に従う。

(11) タブレットの取り扱いについて

* 朝、登校してきたら、必ず保管庫に入れる。

* 終学活終了後、カバンに入れて家に持ち帰り、必ず充電して翌日学校に持ってくる。

⇒詳細は、府中第二中学校『タブレットの活用ルール』を確認し、ルールを守って使用する。